

【概況】 7 月 14 日に行ったプランクトン調査(燧灘)の結果についてお知らせします。

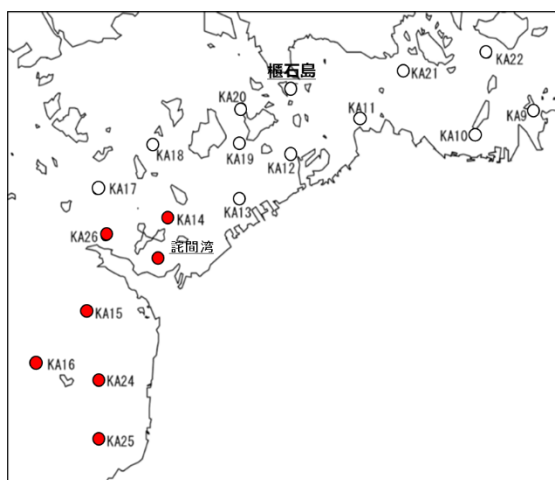
- ・魚毒性を示す有害プランクトン、シャットネラ属(アンティカ、マリーナ、オバータ)が確認されました。最高細胞密度(3 種合計値)は 73 細胞/mL(定点 KA25)です。シャットネラ属は、前回調査時(7/1)よりも増加傾向にありますので、今後の情報にご注意ください。珪藻類は低密度でした。
- ・燧灘沖合の表層水温は約 23~26℃、塩分は 30~31 の範囲で推移しています。
- ・燧灘沖合の溶存酸素(DO)は表層で約 6~11 mg/L、底層で 2~6 mg/L の範囲で推移しています。

表：2021 年 7 月 14 日有害プランクトン調査結果 (海水 1 ミリリットルあたりの細胞数)

調査地点	水深 (m)	シャットネラ・アンティカ	シャットネラ・マリーナ	シャットネラ・オバータ	シャットネラ (区分不能)	カレニア・ミキモイ	コクロディニウム・ポリクリコイデス	シュードシャットネラ・ベルキュローサ	シャットネラ・グロボーサ
KA14	0	9.00	0.67	2.67	0	0	0	0	13
	10	24.33	2.67	6.67	0	0	0	0	9
KA15	0	2.67	0	3.67	0	0	0	0	3
	10	22.33	7.33	15.67	0	0	0	0	84
KA16	0	8.33	3.33	3.33	0	0	0	0	7
	10	14.67	7.00	9.00	0	0	0	0	71
KA24	0	8.67	3.67	4.00	0	0	0	0	16
	10	17.33	9.00	14.00	0	0	0	0	178
KA25	0	6.33	1.00	3.00	0	0	0	0	28
	10	52.33	7.67	13.00	0	0	0	0	58
KA26	0	57.33	4.67	9.67	0	0	0	0	0
	10	19.33	5.33	7.33	0	0	0	0	8
詫間湾	0	24.00	6.33	11.67	0	0	24.67	0	40
	10	18.67	2.00	8.00	0	0	2.67	0	17

* 細胞密度は、3 回計数した平均値を記載しています(ただし、シャットネラ・グロボーサについては計数 1 回です)。

図：調査定点(備讃瀬戸・燧灘)



【参考】 香川県の有害プランクトンの基準密度

種名	注意基準	警戒基準
シャットネラ・アンティカ	1 細胞/mL (3 種の合計値)	10 細胞/mL (3 種の合計値)
シャットネラ・マリーナ		
シャットネラ・オバータ		
カレニア・ミキモイ	10 細胞/mL	500 細胞/mL
コクロディニウム・ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1000 細胞/mL

* 赤潮定期調査(燧灘)は合計 7 定点 (KA14、15、16、24~26、詫間湾)で行っています。

【有害・有毒プランクトンに関するお問い合わせ】

香川県農政水産部 赤潮研究所(担当:小川・松下) 電話 087-843-6511

香川県農政水産部 水産課漁業振興・流通グループ(担当:和田) 電話 087-832-3471